

講義名	日本事情 A			授業形態	
担当教員	野村 由香里	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

・留学生が、日本の文化や習慣、伝統行事などの日本事情を、母国との比較を通し理解すると同時に、日本語の読解力、語彙力、表現力の習得を目指す
 ・理論だけを学ぶのではなく、普段から疑問に思っている日本のことについて調べ、実際に日本人に質問紙を作り、アンケート調査を行い、発表する。

到達目標

留学生が自分とは異なる文化や考え方の存在に気づき、視野を広げることができる。
 自分の文化を振り返り、新しい物や自分と違うものと接したときの姿勢を養うことができる。
 日本語の学識と日本事情や日本文化の学識を一掃に考える事により、言語と文化が繋がっていることに気が付くことができる。
 留学生が、普段から疑問に思っている日本のことについて、調査を行い、自分なりの回答を見つけ出す。

提出課題

授業時に指示する

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業時に指示する

評価の基準

プレゼンテーション点40% + レポート点20% + 授業内課題点40% = 100%

履修にあたっての注意・助言他

1. 出席確認は毎回点呼を行う
2. 5回以上欠席した場合は期末試験を受けることができない
3. 授業が始まって15分以内の入室は遅刻とみなし、遅刻3回で1回の欠席となる
4. 15分以上の遅刻は欠席とみなす（授業は受けてもよい）
5. 授業時には辞書を携帯すること

教科書

.知っていますか日本のこと.	Jasso 日本語教育センター	穂高書店	2021	9784938672393
----------------	-----------------	------	------	---------------

参考図書

.日本語で文化体験.	長谷川由香他	アルク	1800	9784757436596
.クローズアップ日本事情15.	佐々木理枝	ジャパンタイムズ	2500	9784789016537
.留学生のための日本事情入門.	桂島宣弘	文理閣	2000	9784892594748

その他

日本の新聞
インターネットニュース

授業計画

1. 授業ガイダンス / プロローグ
2. 日本人の名前
3. 野球と日本人
4. マンガ・アニメ
5. いろいろいる言葉づかい
6. 日本人の一生
7. 卒業式・手紙・Eメール
8. アンケート調査(1)
9. アンケート調査(2)
10. アンケート調査(3)
11. アンケート調査(4)
12. アンケート調査(5)
13. 方言
14. トラブル対策
15. 日本文化(華道)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：学習する課に出てくる新出語彙や表現の意味を理解し、内容を一読しておく。（120分）
 復習：学習した内容を見直し、まとめておく。（120分）
 課題：適宜

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目の修得は流通科学大学の定めるディプロマポリシー「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」の育成に關与している。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考